

<p>一般社団法人</p> <p>日本看護研究学会北海道地方会</p> <p>地方会ニュース</p> <p>第36号</p>	<p>一般社団法人日本看護研究学会北海道地方会事務局 〒061-0293 石狩郡当別町金沢 1757 北海道医療大学 看護福祉学部内</p> <p>編集責任 三津橋 梨絵 E-mail : h-chihoukai@ml.hoku-iryo-u.ac.jp</p> <p>2021年6月16日 発行</p>
--	--

会員の皆さまへ

北海道地方会会長 三国 久美

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大のため、北海道では緊急事態宣言が6月20日まで延長されました。また、新型コロナワクチン接種が加速度的に推進されており、ワクチン接種従事者の人材不足から、看護職への期待が高まっています。日々、保健所や医療機関そして福祉施設など様々な場で、対応にあたられている看護職の皆さまのご尽力に敬意を表します。

さて、今年度は旭川医科大学の服部ユカリ先生に学術集会会長をお引き受けいただき、令和3年8月28日（土）に北海道地方会の学術集会が開催されます。テーマは、「With コロナ・After コロナに育む看護の心～看護教育実践の新常識～」であり、コロナ禍の今を反映した内容となっています。また、地方会の学術集会としては、初めてのオンライン開催になります。移動の時間も交通費もかからず、手軽に参加できるというオンラインならではの強みがあります。ぜひ、多くの皆さまのご参加をいただけますよう、ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

また、本地方会の独自の取り組みとして、地方会会員による本学会誌掲載論文や学術集会への報告の中から、看護実践への貢献度が高い研究に対し研究奨励賞を授与しています。今後も皆さまの積極的な投稿・発表をお待ちしております。

その他の活動として、特別講演会を開催する予定です。会員の皆さまのご要望に沿えるテーマを検討して実施したいと考えています。

これらの活動は、適宜ホームページでお伝えしていきますので、ご覧いただければ幸いです。

北海道の保健医療福祉の一層の充実のために、看護職者と教育・研究者が協力・連携することがますます必要とされてきており、そのために本地方会の役割は大きく、また期待されていることを実感します。今後もこのような役割をさらに発揮できるよう、本地方会役員一同さらなる努力をしてみたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

最後に会員の皆さまのご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます。



令和3年度 一般社団法人 日本看護研究学会北海道地方会総会のご案内

例年、本地方会の総会は学術集会日程に合わせて開催しておりましたが、会員の皆さまにお集まりいただくことは困難であるため、今年度は昨年度と同様に Web での総会を開催させていただきます。

以下の手順により、総会をすすめさせていただきます。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

<総会の進め方>

- ① パスワードをかけた総会資料をアップロードします。事前に皆さまにメールでご案内いたしますので、地方会のホームページ <https://www.jsnr.or.jp/district/hokkaido/> にアクセスし、確認してください。時期は、8月上旬を予定しております。
- ② 総会資料のパスワードは、後日メールでお知らせします。
- ③ ご意見等がある場合は、地方会事務局のアドレス h-chihoukai@ml.hoku-iryo-u.ac.jp までメールでお送り下さいますようお願い申し上げます。この期間にご意見等がなければ、ご賛同頂けたものとして今年度の地方会を運営して参ります。

一般社団法人 日本看護研究学会 第29回北海道地方会学術集会のご案内

第29回北海道地方会学術集会 開催のご挨拶

テーマ：With コロナ・After コロナに育む看護の心～看護教育実践の新常識～

第29回 北海道地方会学術集会会長 服部 ユカリ

新型コロナウイルス感染症の世界的パンデミックは、私たちの健康と生命を脅かし、生活に大きな影響を及ぼすだけでなく、価値観の転換や創造性の発揮を迫っています。保健・医療・看護の分野では、その重要性と日本のレベルを再認識される機会になりましたが、治療法が手探りの中での医療の困難性、家族との面会ができない環境での療養を余儀なくされる患者の心理的苦痛、医療従事者のストレス対処、医療提供体制の不均衡など新たな課題に直面しています。また教育の分野でも、小学校から大学まで対面での授業機会が減少し、看護教育においても教育方法に影響が出ています。看護系大学協議会の「2020年度 COVID-19に伴う看護学実習への影響調査」(回答：国公立大学 278校)によると、2020年9月以降に開講の実習科目のうち何らかの変更があった科目は83.4%であり、そのうち約8割は実習の日数・時間や方法を変更し、約4割が実習時期を変更しています。このように困難な状況の中で、未来の看護職を育む工夫がそれぞれの教育機関で行われています。

そこで、今回の学術集会では、With コロナの時代にあって、After コロナを見据えた看護基礎教育から継続教育までの実践の現状や課題を参加者の皆さまと共有することにより、看護教育の在り方について考える機会を持ちたいと思います。With コロナに相応しく、今回は北海道地方会では初めてのオンライン学術集会です。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

【期日】 令和3年8月28日(土) 13:20~16:50

※開始前(13:00~13:10)に令和2年度・研究奨励賞表彰式を行います。

【参加費】 会員 1000 円、非会員 1500 円、学生 500 円 (大学院生は含まない)

【会場】 ZOOM によるオンライン開催

【プログラム】

<シンポジウム> 13:30~15:00

テーマ: コロナ禍における看護教育実践の新常識を考える

座長: 阿部 修子 (旭川医科大学医学部看護学科 教授)

山根由起子 (旭川医科大学医学部看護学科 教授)

シンポジスト:

「コロナ禍における看護基礎教育実践」 泉澤真紀(旭川大学保健福祉学部保健看護学科 教授)

「コロナ禍における臨地看護学実習」 永谷智恵(名寄市立大学保健福祉学部看護学科 教授)

「コロナ禍における学生のメンタルヘルス」 長谷川博亮(旭川医科大学医学部看護学科 教授)

「コロナ禍での臨床における新人教育の実際」 井戸川みどり(旭川医科大学病院看護部 副看護部長)

<一般演題(口演)> 15:10~16:50

【参加申し込み方法】

・下記参加申し込みフォームより、必要事項を記載し、お申し込みください。

※オンライン学術集会のため、事前登録参加のみとさせていただきます。

<参加申し込みフォーム> <https://forms.gle/UuNS5xrWdFKKWtXc6>

<必要事項> 氏名、メールアドレス、郵便番号、住所、勤務先、

会員(会員番号)/非会員/学生(大学院生を除く)の別

<申し込み期間> 令和3年5月7日(金)~8月13日(金)

<お問い合わせ先> 日本看護研究学会 第29回北海道地方会学術集会事務局

E-mail: 29kenkyu.h@asahikawa-med.ac.jp



参加申し込み
QRコード

【参加費の振り込み手続き】

・参加申し込みフォームよりお申し込みが完了しましたら、8月13日(金)までにATMまたは窓口にて、参加費をお振込みください。振込み手数料は各自でご負担をお願いいたします。

・お振込みされる際には、お名前の前に必ず会員番号を入れてください。

例) 12345 アサヒカワ ハナコ

<ATMで振り込みの場合>

①ゆうちょ銀行口座をお持ちの場合(ゆうちょ銀行→ゆうちょ銀行)

【記号】 19780 【番号】 16791331

②他金融機関から振り込みする場合（他金融機関→ゆうちょ銀行）

【店名】 九七八（読み キュウナナハチ） 【店番】 978

【預金種目】 普通口座 【口座番号】 1679133

【口座名義】 第 29 回日本看護研究学会北海道地方会学術集会

<窓口で振り込みの場合>

電信払い込み請求書・電信振替請求書に必要事項を記入し、お支払い下さい。

【口座名義】 第 29 回日本看護研究学会北海道地方会学術集会

【口座記号番号】 19780 16791331

2020 年度日本看護研究学会北海道地方会 特別講演会のご報告

令和 3 年 2 月 21 日（日）に「高齢者のポリファーマシーと看護の役割」と題して、講師に石角鈴華氏（北海道医療大学）、座長に山田律子氏（北海道医療大学）をお迎えし、オンラインで開催しました。会員 16 名、非会員 4 名の計 20 名の参加でした。高齢者のポリファーマシーという重要な課題について、チーム医療における看護師の役割やエビデンスをもって関わることの必要性を実感する機会となりました。参加者には大変好評で、有意義な講演会でした。

北海道地方会研究奨励賞受賞者のお知らせ

2020 年度は論文 1 件、研究発表 2 件の受賞がありました。

【論文】

○山内まゆみ, 伊藤幸子, 中村恵子 (2020) : 北海道・東北圏に勤務する助産師の助産実践能力に関する平成 24 年度実態調査と継続教育への示唆, 日本看護研究学会雑誌, 43 (1), p119-132.

【研究発表】

○高橋順子, 山本道代 (2020) : 意思疎通困難な認知症高齢者への対処の実際—ケアや関わりの難しさに焦点をあてて—, 日本看護研究学会雑誌, 43(3), p. 508.

○吉村舞, 鷲見尚己 (2020) : 患者の視点で行う退院支援の質評価尺度に関する文献検討—海外で開発された 3 つの尺度を用いて—, 日本看護研究学会雑誌, 43(3), p. 536.

なお、研究奨励賞表彰式は、令和 3 年 8 月 28 日に開催される第 29 回北海道地方会学術集会の開始前にオンラインで行います。